



能登半島被災地視察報告 (8月26日~28日) 詳しい視察報告書はこちら▲

豪雨災害の前でしたが、女性防災士の仲間で輪島と穴水を中心に被災地の視察に伺いました。被災された当時のまま残る多くのがれきに、復興は程遠いと感じずにはられません。能登で得られた知見を埼玉でも生かせるように、平時から備えるべきことを挙げたいと思います。



避難所生活は

鳥かごの鳥と同じで
人権が奪われている状態。
プライバシーも自由もない。

自宅避難の備えを

(水と食料は最低3日分、携帯トイレ
1人1日5回分を7日分)

備蓄品の生理用品
が現実離れた枚
数であった

石川県女性センター所長



住まいが

どうなるかは大きな問題。
半壊・準半壊などの判定により
補助金の額も仮設住宅への
入居の可否も決まる。自宅の
**家具転倒や家屋の倒壊で
圧迫死をすることを避ける**
(家具固定サポーター登録制度
・耐震診断参照)

補助金申請手続きの
煩雑さは被災者にはしんどい
そもそも「絵に描いた餅」の
制度もある

仮設住宅の
期限である2年後、
どうしたらいいのか
全く先が見通せない



石川県ボランティア協会副会長



輪島市鳳至町第一団地
仮設住宅

仮設住宅や

新しい住居でのひきこもり、
災害関連死が増えてくるのは
これから。特に男性や、助けを
求めることができない受援力の
乏しい方は要注意。日頃から
**地域で顔の見える関係を
つくっておく**

グレーゾーンにいる方々をいかにレッドゾーンに
行かせないよう食いつめられるか、常に考えている

NPO法人レスキューストックヤード



行政・

**社会福祉協議会・
NPO団体の連携**が
上手くいっている穴水町は
復興が早かった。
普段から訓練等で情報共有や
関係性づくりを

本当は子供夫婦と
一緒に住みたいが、
うんと言ってくれない

由比ヶ丘団地
仮設住宅ボラ町亭



家族の

トラブルが表面化して
離婚も増える。学校や介護の
社会インフラを早期に復活させ
**なるべく早く日常を取り戻す
ことが大事**

穴水の宮崎副町長からは、本庁と連絡がとれないなかで
リーダーとして強い決断力が迫られたことや、災害を機に
若者ほど町を出て行ってしまった人口流出の悩みなども伺
い、様々な要素について学ばせていただきました。

過去の災害時に書か
れた報告書をもっと読
んでおけばよかった

穴水町副町長



埼玉県家具固定サポーター登録制度

埼玉県では家具固定方法を無料でア
ドバイスする制度があります。



埼玉県イツモ防災

防災グッズの紹介や「3つ
の自助」(①家具固定 ②3日
分以上の水・食料備蓄 ③災害用伝言サ
ービス体験)についてご案内しています。
災害用伝言サービス「171」は毎月1日と
15日に体験ができます。



さいたま市耐震診断

さいたま市は昭和56年(1981年)5月
31日以前に建てられた木造住宅の耐
震診断を無料で行っています。(今年度は12月末まで)



南自治協会にて防災講和を